



鬼怒川ダム統合管理事務所 令和4年度事業の概要

鬼怒川ダム統合管理事務所は、^{いかり}五十里ダム・^{かわまた}川俣ダム・^{かわじ}川治ダム・^{ゆにしがわ}湯西川ダム及びダム群連携施設の5つの施設を一体として運用する「統合管理」を行っています。

また、水源地域の振興と活性化の行動計画「鬼怒川上流ダム群水源地域ビジョン」を進めています。

令和4年度の事業としましては、5つの施設が正常に機能するために、堰堤維持費「約22.2億円」により施設の点検及び修繕等を行います。

また、堰堤改良費「1.7億円」により川治ダム堆砂対策等の検討を行います。

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」事業のR3年度としては「約8.6億円」により各管理施設の修繕等を行います。

主要な事業は次のとおりです。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1) 5つの施設の統合管理 | (別紙1) |
| 2) 危機管理型の運用 [ダムの事前放流] | (別紙2) |
| 3) 川治ダムコンジット予備ゲート修繕工事 | (別紙3) |
| 4) 鬼怒ダム管内通信設備工事 | (別紙4) |
| 5) ダムの機能維持 | (別紙5) |
| 6) 地域活性化の取り組み | (別紙6) |

台風等による洪水や、少雨による濁水が発生した場合には、ダムに関する情報を正確に、分かりやすくお知らせしていくこととします。

※事業計画等は、現時点における予定であり、今後変更となる場合があります。
※上記の他、工事諸費等があります。

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所

副所長 ^{たての さとる} 舘野 悟 管理課長 ^{なかざわ たかひろ} 中澤 高廣

住所 栃木県宇都宮市平出工業団地14-3

電話：028-661-1341 (代表)

鬼怒川ダム統合管理事務所では、限りある水資源とダム貯水池を有効活用し、ダムの効果を最大限発揮させるために、五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、湯西川ダム及びダム群連携施設を一体運用する「統合管理」を行っています。



川俣ダム



湯西川ダム



川治ダム



五十里ダム



ダム群連携施設

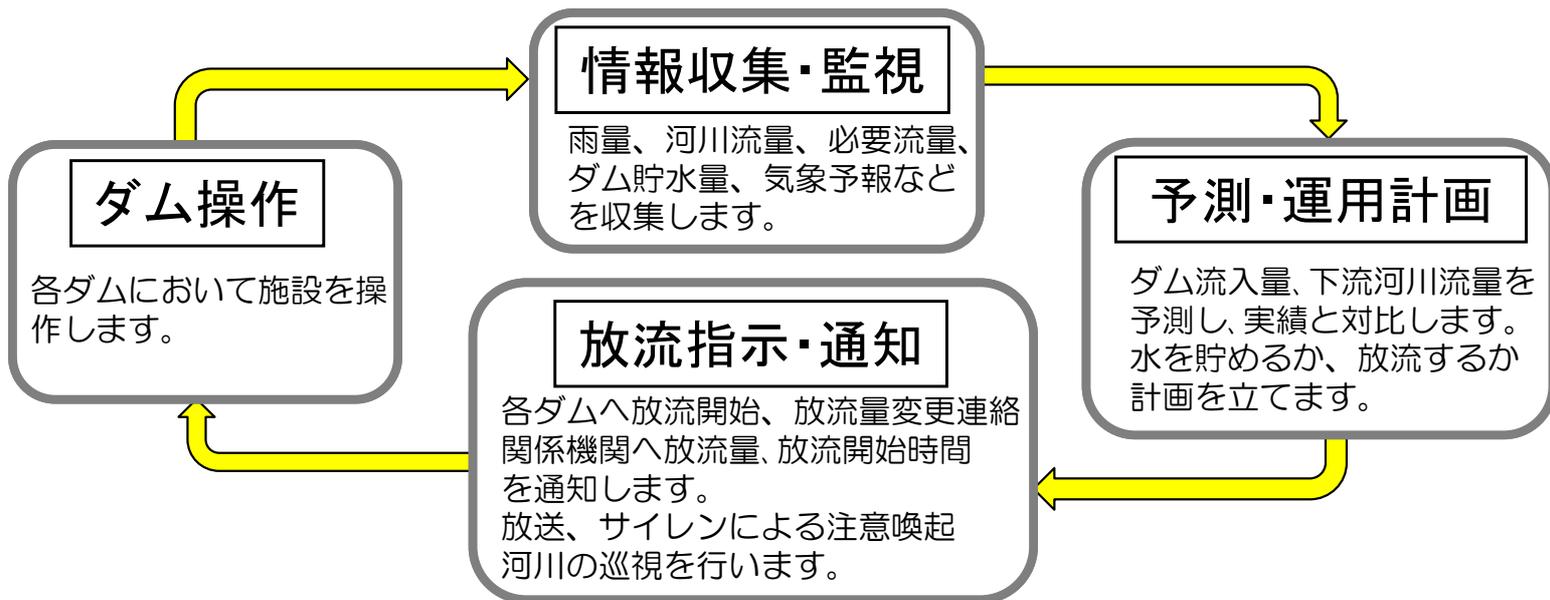
鬼怒川のプロフィール

水源	栃木県と群馬県境の鬼怒沼 (標高2,040m)
幹川流路延長	176.7km
全流路延長	859.8km
集水面積	1,784.4km ²
山地面積	1,105.4km ²
平地面積	607.6km ²
流域内人口	約55万人

洪水調節、利水補給による流水管理

台風等による出水時に、ダム下流の洪水被害を軽減するために、ダムにより洪水調節を行います。

また、平常時には、各種用水や河川環境を保持するために、必要な流量をダムから放流する利水補給を行います。



統合管理のための様々な設備

ダムを運用するために、ダム堤体に付属する機械・電気等設備はもとより、気象観測、放流警報、通信等の様々な設備が設置されています。ダムが、必要な役割を果たせるように、これらの点検整備を行います。



雨量観測所



放流警報局(サイレン)

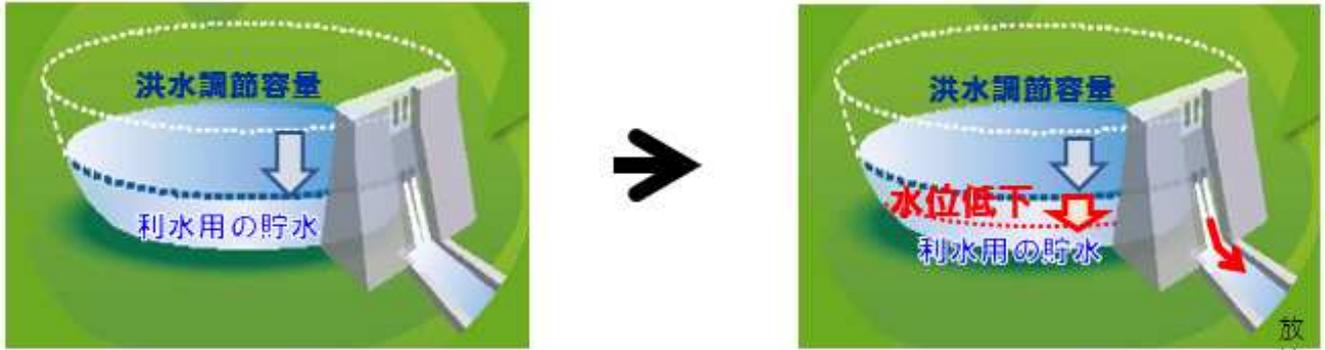


管理用水力発電設備

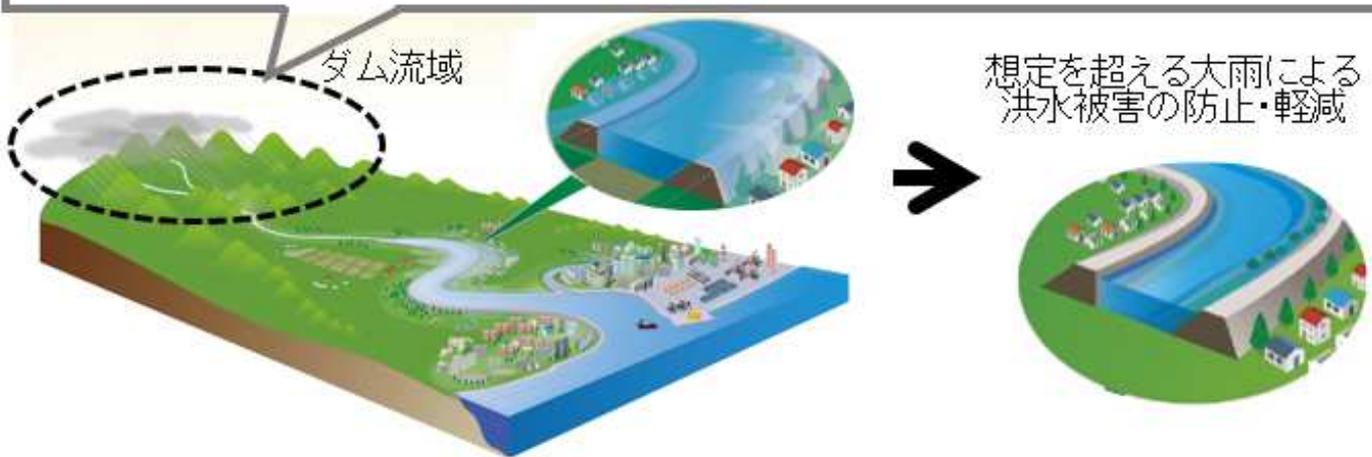
ダムの事前放流は、洪水被害の防止・軽減を目的としており、想定を超える大雨が予想される場合に、事前にダムの貯水位を下げ、より多くの洪水を貯めることができるようにするものです。

※事前放流では、雨が降り始める前など、晴天時からダムの放流を始めることがあり、ダム放流を開始する前には、サイレンを鳴らしスピーカーで放送等を行います。放流により増水するため、事前放流が行われている時は、川から離れ、川に近づかないようにして下さい。

●利水用の貯水を放流して、空いた容量を一時的に洪水調節に利用します。



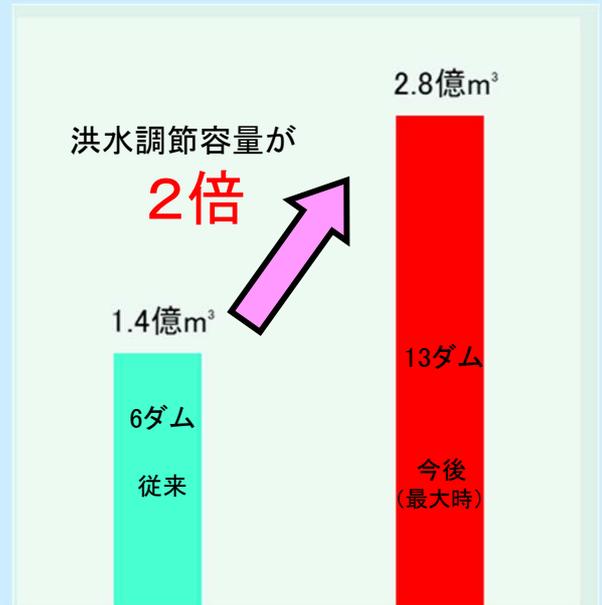
◎現状で、多目的ダムは、洪水期(夏～秋)に洪水調節容量を確保します。利水ダムは、年間通して洪水調節容量を持ちません。



ダムの事前放流イメージ



事前放流実施ダム位置図(鬼怒川流域)



鬼怒川におけるダムの洪水調節容量

1. 事業の概要

川治ダムコンジット主ゲートは、川治ダムの洪水調節に使用するゲートです。この主ゲートの点検・整備時等に使用されるコンジット予備ゲートにおいて、ゲートの操作を行う機側操作盤の老朽化が進んでいるため、予備ゲート1号及び2号の機側操作盤を更新します。

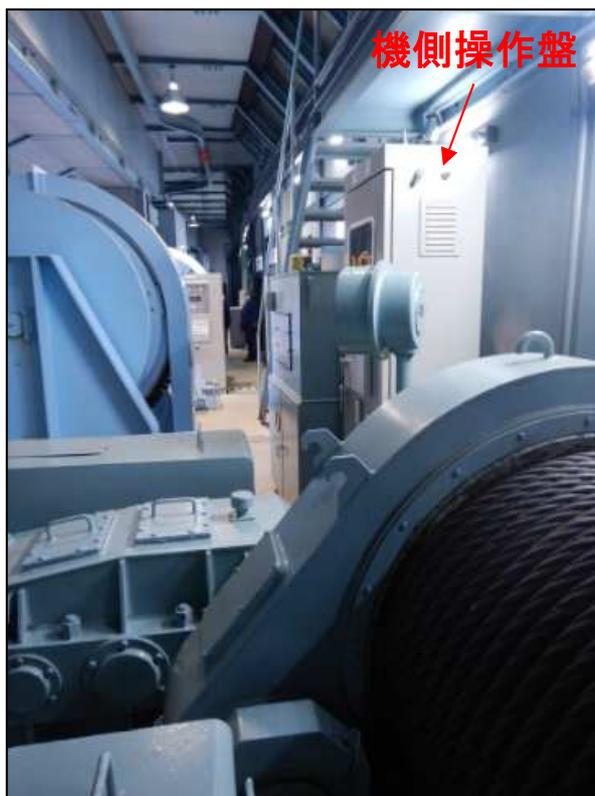
2. 事業内容



川治ダム全景



コンジット予備ゲート



ゲート操作室内



機側操作盤外観

台風等の出水に伴いダムに流れ込んだ土砂や倒木が、ダムの治水、利水機能に支障を与えることにならないように、土砂掘削及び流木処理を継続的に行います。また、ダム関連施設の補修等を行い長寿命化を図ります。

土砂掘削(貯水池内)



川治ダム貯水池土砂掘削・搬出状況

川治ダムにおいては、貯水池内の土砂堆積が顕著に進行しているため、堆砂対策施設の整備に向けた検討を行っています。

ダム管理施設の維持



放流ゲート点検状況

流木処理(貯水池内)



五十里ダム流木処理状況(湖面集積)



ヤードにて
乾燥後に粉碎
して、チップ化



無料配布を実施



牛舎の寝床として利用

流木の大部分は、民間処分場に持ち込み処分(有料)していますが、維持管理費を削減するために、チップ化して無料配布する取り組みも進めています。

鬼怒川上流ダム群水源地ビジョンの概要

水源地域の将来像

『人・水・温泉 わくわく鬼怒川水源地郷』

水源地域ビジョンを進めていく基本方針

- 基本方針1 地域の“宝を磨いて”活かす
- 基本方針2 流域の“つながりを深める”
- 基本方針3 みんなが愛する“きぬがわブランド”を育てる

対象地区

ダムに関連する鬼怒川上流地域の5つの地区（川治地区、三依地区、川俣地区、日向地区、湯西川・西川地区）を対象に「水源地域ビジョン」の行動計画（アクションプラン）を作成しました。
また、4つのダムが連携して水源地域の活性化を進めるための全体アクションプランも設定しています。

推進体制

水源地域全体を包括する組織として「鬼怒川上流ダム群水源地域ビジョン推進協議会」及び地区ごとの取り組みを推進する組織として4ダムごとの「ダム部会」が設置されています。



令和4年度に水源地域の皆さんと協力して実施する予定の取組の事例

五十里ダム環境放流公開試験ツアー



鬼怒川上流ダム群連携施設公開試験ツアー



川俣ダム資料室リニューアル



リニューアル前（現在）

サイクリングマップ



湯西川ダム完成10周年アニバーサリー



記念カード



川俣ダムのキャラクター“かわま”がお出迎え



キャラクターは、水源地域ビジョンの中でダムのブランド化を手伝うために登場しました。4人そろって“キヌダム4姉妹”です。